

***** オンライン公開講座 *****

日本語教育における「新常態」
— 除菌の徹底と「文脈化」・「個人化」治療の拡充

参加費
無料

日時 2020年10月31日 (土) PM13:30~PM15:30

対象 日本語講師、地域日本語ボランティア

定員 先着50名

講師 川口 義一 氏

早稲田大学名誉教授
言語・生活研究所代表

『ライブ! 成長する教師のための日本語教育ガイドブック』上・下 (共著) ・
2005/5・ひつじ書房

『もう教科書は怖くない! 日本語教師のための初級文法・文型完全「文脈化」・「個人化」アイデアブック』第1巻・2016/12・ココ出版 他多数

最近、地域における日本語学習支援は、大きな広がりを見せているが、せっかく自由で、親密なコミュニティを作って学習のサポートができる環境なのに、「組織化された日本語教育」の真似をしようとして、かえって硬直化している例が見られるのは残念である。

その問題点の最大のものが教科書である。地域日本語教育のために最適な教科書は現在存在せず、市販の教科書に頼って支援すればするほど、効果があがらない。教科書がすべて終わったのに、自由に話せず書けずという学習者が多いとはよく耳にする現場の声である。

本講義では、講師の最新の研究から、教科書の例文や練習問題がいかに現実の普通の会話から逸脱しているかを示し、「教科書は使えない」という仮説を証明する。そして、その代わりに何をすれば学習者の視点に立った学習支援が可能になるのかを、講師自身の教育実践の経歴から紹介する。(講師のお言葉より)

ZOOM を使用します。PC、タブレット、スマホと、インターネット環境が必要です。

お申込み

E-Mail icas.nihongo2020@gmail.com

お問合せ

アイカス教育担当: 昆野

お申込みの際は、お名前・ご住所・電話番号・ご所属をお知らせください。

主催 NPO法人アイカス国際都市仙台を支える市民の会 (ICAS)

協力 公益財団法人仙台観光国際協会 (SenTIA)